



広島和牛 News

北海道全共まで
657日



北海道全共マスコットキャラクター
「和ぎゅりー」 承認番号4

令和7年11月7日発行 No.94

➤ 第101回広島県畜産共進会（種畜の部）が開催されました



（写真上）受賞後の記念撮影にのぞむ“きたひさ13”。左から、JA広島市・副島常務理事、全農広島県本部・安藤本部長、酒井さんご夫妻。

（左下）比較審査の様子。写真奥では審査員が熟考しています。

（右下）個別審査の様子。どの牛もよく調教されており、審査員が体に触れても動じる様子はありません。

令和7年10月21日（火）、三次家畜市場（三次市西酒屋町）にて、第101回広島県畜産共進会・種畜の部が盛大に開催されました。この共進会は、生産者の皆様や関係者が一同に集まり、改良の方向性を共有し、今後の和牛や乳牛の生産技術の研鑽を図ることを目的としています。今大会では、地域で選り抜かれた代表牛68頭（肉用種牛47頭、乳用種牛21頭）が出品されました。

肉用種牛の部では、審査の結果、山県郡北広島町の酒井邦昭さん出品の“きたひさ13”が、前軀～後軀のつり合いがとれており、肩の付着及び品位に優れているとして総合首席に輝き、農林水産大臣賞が授与されました。審査員達の長い協議を経て結果が発表された際には、見守っていた地域関係者から大きな歓声が上がりました。また、発育・体積・均称及び体上線の強さに優れているとして、庄原市東城町の赤木一超さん出品の“第3きよこ1の4”が総合2席に選ばれました。

ご自身初の総合首席に輝いた酒井さんは、「（受賞は）たまたまです。」と謙遜しながらも、「共進会への取組は20代から続けているが、これまであまりいい成績ではなかった。好きこそものの上手なれ、の思いで今日までやってきて、今回このような賞をいただけるのはとても嬉しいしありがたい。また明日からも仕事に励みたいです。」とコメントされ、「（奥様に）やっと良いところが見せられたかな。」と笑顔を見せてくださいました。

審査員を務められた（公社）全国和牛登録協会 DNAデータベース課・中山課長は、審査講評の中で「全体的に、発育や体積に優れた牛が多く、レベルが高かった。とくに総合首席と2席はとて僅差だったが、体の伸びの点で首席が勝っていた。」と話されました。

その他主な成績は、左の表のとおりです。出品者の皆様、誠にありがとうございました。

【肉用種牛の主な成績】

褒賞	名号	生年月日	血統		所 在	氏 名
			父	母の父		
1区首席	つるなぎさ	R6.12.23	福之鶴	美津照重	安芸高田市吉田町	杉原克彦
2区首席	いとなつ2130	R6.11.10	花勝百合	田安照	庄原市高野町	下奥朋則
3区首席（総合2席）	第3きよこ1の4	R6.6.22	花勝百合	美国桜	庄原市東城町	赤木一超
4区首席（総合首席）	きたひさ13	R6.4.14	百合白清2	福之姫	山県郡北広島町	酒井邦昭

【乳用種牛の主な成績】

褒賞	名号	生年月日	所 在	氏 名
1区首席（未經産首席）	WD カネフア ジャガー ホームズ	R6.8.5	庄原市東城町	和田慎吾
2区首席	ブルートパーズ エンド ハズイットオール	R6.3.7	世羅郡世羅町	藤井康浩
3区首席	ヒシヌマフアーム ガバナス フォルティ	R5.2.22	庄原市東城町	和田慎吾
4区首席（経産首席）	HDK アルマーニ ロウ ET	H30.1.18	三次市布野町	（有）檜高牧場

➤ 口和モーモー祭が開催されました

令和7年10月11日（土）・12日（日）の2日間、庄原市口和総合運動公園にて、第18回口和モーモー祭が2年ぶりに開催されました。当日は、10月とは思えない暑さの中でしたが、会場は家族連れなど大変多くの来場者でにぎわいました。

イベントの目玉のひとつであるモーモー大行進では、子牛から成牛まで総勢15頭の牛たちがグラウンドを練り歩き、美しく手入れされた姿と堂々とした歩行を披露しました。

続いて、庄原実業高等学校の生徒が学牛の碁盤乗りに挑戦し、大勢の観客が見守るなか見事に成功しました！自ら今回の挑戦を志願したという、生物生産学科3年生の立花大虎（たいが）さんは、終了後に「学校とは雰囲気の違い、最初は牛も自分も緊張や焦りがあったが、いざ碁盤の前まで来るといつもどおり落ち着いて動けた。」と話してくださいました。立花さんは、去年の文化祭で碁盤乗りを行う先輩の姿を見て刺激を受け、引き手に立候補したそうで、同校内で調教への情熱や技術が確実に受け継がれていることが伺えました。

生産者の皆様をはじめ、参加された関係者の皆様、大変お疲れさまでした！



（写真左）碁盤乗りに成功した“みゆき”号と立花さん。隠れていますが、ちゃんと後肢も乗っています！
（右）行進の様子。お揃いの帽子が素敵です。

➤ 生産者の皆様へ 異常産の予防対策万全ですか？ ～ワクチン接種で地域ぐるみの防疫を～

全国の都道府県では毎年、牛の異常産の流行を予察するため、異常産の原因となるウイルス（アカバネ・チュウザン・アイノ等）について、年4回の調査を行っています。今年の広島県における調査において、9月に実施した3回目の調査結果から、アイノウイルスが県内に広く浸潤していることが確認されました。

異常産を引き起こすこれらのウイルスは、吸血昆虫（ヌカカ）によって媒介されるため、吸血昆虫の活動が盛んになる夏から秋に伝播します。妊娠牛が感染した場合には、感染直後の秋に流産、冬から翌年春にかけて先天異常（虚弱、体形異常、起立不能、盲目等）を持った子牛が分娩されます。

吸血昆虫によるウイルス感染は完全に防ぐことができません。このため、予防対策としては、予防接種を地域ぐるみで継続することが重要です。皆様の大切な母牛、生まれてくる子牛をウイルスから守るため、ワクチン接種を継続しましょう！！



※生まれた子牛がいつもと様子が違う、体形の異常がある等、気になることがある場合は、診療獣医師または家畜保健衛生所へご連絡ください。

➤ 比婆牛プレミアムグルメフェアが開催されています！



左から、ANA クラウンプラザホテル 鉄板焼 愛宕・箕浦料理長、グランドプリンスホテル 広島 ステーキ&シーフード ポストン・稲山料理長、石岡支配人兼総料理長。さらに右のお二人が持つ紫のパネルについては、次号で紹介します！

令和7年10月29日（水）、紙屋町スウィング（広島市中区シャレオ内）において、「比婆牛流通強化プロジェクト発表会」が開催され、「比婆牛プレミアムグルメフェア 2025 秋編」の開催が発表されました。

今回のグルメフェアは、県内4つの有名ホテルが参加することを目玉としており、より多くの方に比婆牛を味わっていただける機会となりそうです。会の中では、広島市内を中心とした民間主導の比婆牛流通が強化された結果、一般の料理店よりも消費量が多く、これまで比婆牛を取扱が困難であったホテルの参加が可能となったことが紹介されました。

登壇されたホテル宮島別荘/島旨 PAN の石岡秀樹支配人兼総料理長は、「秋の観光シーズンに入り、たくさんの方が宮島を訪れてくれる。多くのお客様に比婆牛の魅力を伝えたい。」と意気込みをコメントされました。

グルメフェアは、下記のとおり、県内の飲食店 28 店舗において開催中です！

比婆牛プレミアムグルメフェア 2025 秋編



※写真は料理の一例です。

県内の飲食店 28 店舗において、比婆牛の魅力を堪能できる特別な一皿が提供されます。

開催期間：令和7年11月1日～令和7年12月31日

期間中、参加店舗にて対象メニューを召し上がった方を対象に、抽選で素敵なプレゼントが当たるキャンペーンもあわせて実施しています！

店舗情報など、詳細は下記の特設サイトをご覧ください。

<https://campaign.hiroshima-hibagyū.com/gourmetfair>



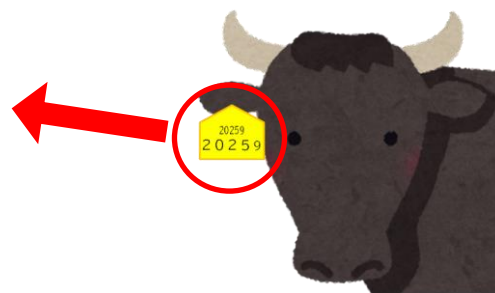
★ 家畜人工授精師の皆さまへ ★

～授精（移植）証明書には雌牛の個体識別番号の記載を！～

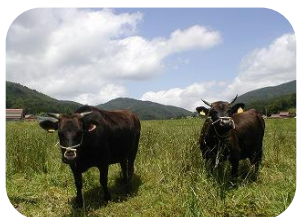
授精証明書（受精卵移植証明書）には、注入（移植）した雌畜の情報として、個体識別番号の記載が必要です。

お使いの証明書様式に個体識別番号を書く欄が無い場合には、「毛色・特徴」の欄等に個体識別番号を記入してください。

精液を注入した(体内受精卵を移植した)雌畜	名 号	品 種
	登録番号	毛色・特徴
	生年月日	年 月 日
	飼養者の氏名住所	郡 市 町



Instagram、フェイスブックで広島和牛の話題を世界に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^ ^)！



右の QR コードからご覧いただけます。スマホの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です！



広島和牛 NEWS は Web でも閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右の QR コードから広島和牛 NEWS パンフレットをご覧ください。スマホの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です。



次号は、
令和7年12月17日発行予定！